

和泉なるわがうぶすなの大鳥の

みやゐ
宮居の杉の青きひとむら

歌 意

和泉の大鳥大社は、私の生まれた地、堺にある一の宮です。
本殿の前にある美しい杉の木立、その青々とした茂みは、神が
降臨されるのではないかと思えるほど清々しいです。

初 出 「時事新報」・大正3（1914）年1月1日号

「社頭の杉」（晶子36歳）

